

# 操作ガイド 5639

CASIO®

## 目次

### はじめに

- 文字板の表示
- モードを切り替える
- 各モードの概略
- りゅうずを使う
- 針と日付の動き方について
- 充電する(ソーラー充電)
- 本機の便利な使い方

### 時刻合わせについて

- 時計を操作して時刻や日付を合わせる

### スマートフォンと一緒に使う (モバイルリンク機能)

- 準備する
- 時計の時刻を自動で合わせる
- ストップウォッチのデータを見る
- アラームを設定する
- ワールドタイムを設定する
- 針や日付の位置を補正する
- スマートフォンを探す(携帯電話探索機能)
- 時計の各種機能を設定する
- ホーム都市のサマータイム設定を切り替える
- 時計の充電量を確認する
- 接続
  - 時計とスマートフォンを接続する
  - 時計とスマートフォンの接続を解除する
  - 病院内、飛行機内で使うとき
  - ペアリングを解除する
  - スマートフォンを買い替えたとき

### ストップウォッチ

- 計測する
- フライバック計測(ラップタイム計測)
- レースのラップタイムを記録する(使用例)
- 直前のラップタイムとの差を確認する

### その他の設定

- デュアルタイムを設定する
- アラームをセットする
- アラームを解除する
- 時計の設定をリセットする

### 針や日付の補正

- 針や日付の位置を補正する

### 海外に渡航するときは

### 補足

- サマータイムの切り替えについて
- 対応するスマートフォン
- 仕様一覧
- モバイルリンク機能に関する注意事項
- 無線に関するご注意
- 商標、登録商標について

### 困ったときは

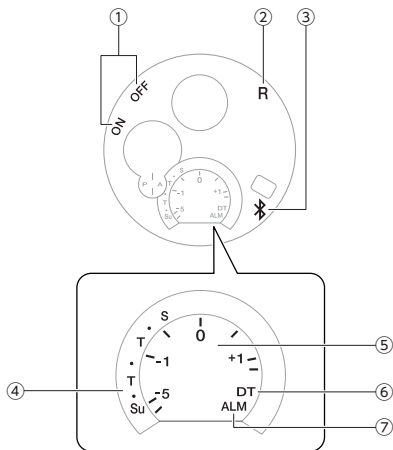
## はじめに

時計の概要と、便利な使い方を紹介します。

### 参考

- この操作ガイドに記載しているイラストは、視認性を考慮して実際のものとは異なる描写をしているものがあります。ご了承ください。

## 文字板の表示



- ① アラームの設定**  
アラーム機能のとき、秒針がアラームの設定状況を示します。  
[ON]: アラームオン  
[OFF]: アラームオフ
- ② [R]**  
スマートフォンと接続待機中のとき、秒針が[R]を示します。
- ③ \***  
スマートフォンと接続中に秒針が示します。
- ④ 曜日**  
カレンダーモードのとき、機能針がホーム都市の曜日を示します。
- ⑤ ターゲットタイムインジケータ**  
ストップウォッチモードのとき、機能針が直前のラップタイムとの差を示します。
- ⑥ [DT]**  
デュアルタイム機能のとき、機能針が[DT]を示します。
- ⑦ [ALM]**  
アラーム時刻を設定中に、機能針が[ALM]を示します。

## モードを切り替える

カレンダーモードで A ボタンを押すと、ストップウォッチモードに切り替わり、計測がスタートします。

ストップウォッチモードで A ボタンを 2 秒以上押し続けると、カレンダーモードに切り替わります。

カレンダーモード



A

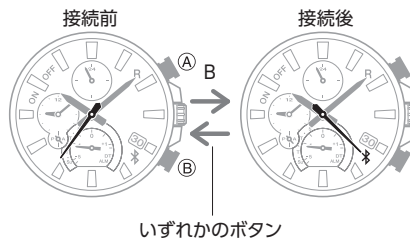
ストップウォッチモード



### ●スマートフォンと接続する

秒針が[R]の位置を 2 回示すまで 2 秒以上、B ボタンを押し続けます。

- いずれかのボタンを押すと、スマートフォンとの接続が解除されます。



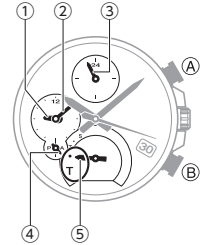
いずれかのボタン

## 各モードの概略

### ●カレンダーモード

時針、分針、秒針が現在時刻を示します。

小時間針、小分針がデュアルタイムを示します。



- ① デュアルタイム時
- ② デュアルタイム分
- ③ 現在地の時 (24 時間制)  
24 時間で 1 周します。
- ④ デュアルタイム時 (24 時間制)  
針が A 側のときは午前、P 側のときは午後を示します。
- ⑤ 現在地の曜日

### ストップウォッチ計測を始める

A ボタンを押します。

### ペアリングしているスマートフォンと接続して時刻を合わせる

秒針が[R]の位置を示すまで 0.5 秒以上、B ボタンを押し続けます。

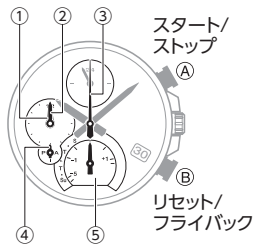
### ペアリングしているスマートフォンを探す

B ボタンを 4 秒以上押し続けます。

## ●ストップウォッチモード

秒針、小分針、小分針がストップウォッチの計測値を示します。

- 時針、分針が現在時刻を示します。

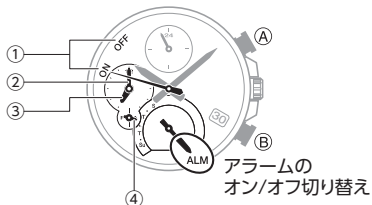


- ① ストップウォッチ時
- ② ストップウォッチ分
- ③ ストップウォッチ秒
- ④ ストップウォッチ時(24 時間制)  
針が A 側のときは計測値が 0~11 時間、P 側のときは計測値が 12~23 時間を示します。
- ⑤ ターゲットタイムインジケーター  
直前のラップタイムとの差を確認できます。

## ●アラーム機能

小分針、小分針がアラーム時刻を示します。  
秒針がアラームのオン、オフを示します。

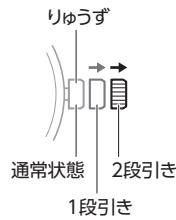
- 時針、分針が現在時刻を示します。



- ① アラームのオン/オフ
- ② アラーム分
- ③ アラーム時
- ④ アラーム時(24 時間制)  
針が A 側のときは午前、P 側のときは午後を示します。

## りゅうずを使う

### ●早送り/早戻しする



### 重要

- 防水性能の低下や衝撃を受けたときの損傷を防ぐため、操作が終わったら必ずりゅうずを元に戻してください。
- りゅうずを戻すときは、強く押し過ぎないようにご注意ください。

りゅうずを 1 段または 2 段引いた状態で素早く繰り返し回すと早送りまたは早戻しができます。早送り中に再度りゅうずを素早く繰り返し回すと、針の動きが速くなります。

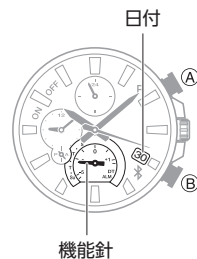
### ●早送り/早戻しを解除する

りゅうずを逆方向に回す、またはボタンを押します。

### 参考

- りゅうずを引いた状態で 2 分以上何も操作しないと、操作が効かなくなります。その場合は、りゅうずをいったん戻し、再度引いてください。

## 針と日付の動き方について



### ●機能針と日付の動きについて

この時計は、日付を変更すると、日付の動きに連動して機能針が回転します。

### ●日付について

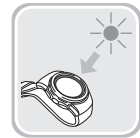
- 午前 12 時(深夜 12 時)になると約 50 秒から約 3 分 20 秒かけて日付が変わります。このとき、日付の動きに合わせて機能針が回転します。
- りゅうずを引いた状態では日付が正しく表示されない場合があります。

## 充電する(ソーラー充電)

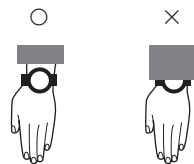
この時計は、ソーラーパネルで発電した電気をバッテリー(二次電池)に充電しながら動作します。ソーラーパネルは文字板と一体になっており、文字板に光が当たっているときは常に発電し充電しています。

### ●充電する

時計を腕から外しているときは、光が当たる明るい場所に置いて充電してください。



腕につけているときは、文字板(ソーラーパネル)に衣類の袖がかからないように心がけてください。文字板(ソーラーパネル)が一部でも隠れていると発電効率が低下します。



### 重要

- 充電時に、光源の条件や環境によっては時計本体が非常に高温になることがあります。火傷をしないように注意してください。また、以下のような高温下での充電は避けてください。
  - 炎天下に駐車している車のダッシュボードの上
  - 白熱灯などの発熱体に近い所
  - 直射日光が長時間当たり、高温になる所

### ●充電不足や充電切れ

針の動きで、充電量が不足しているかどうかわかります。充電不足になると、使用できる機能が制限されます。

### 重要

- 充電不足や充電切れになったときは、文字板(ソーラーパネル)に光を当てて速やかに充電してください。

### 参考

- 充電が切れた状態で光に当て続けると、秒針が反時計回りに動き、57 秒の位置で停止します。これは充電を開始したことを示します。

## 充電不足のとき

秒針が2秒ごとに動きます。



## 充電切れのとき

すべての針と日付が停止します。



## ●充電時間の目安

充電時間の目安として、下の表をご活用ください。

### 1 日、使用するために必要な充電時間

光量		充電時間
多 ↓ 少	①	8 分
	②	30 分
	③	48 分
	④	8 時間

### 充電量の回復に必要な時間

光量	充電時間	
	充電レベル 1	充電レベル 2
多 ↓ 少	①	2 時間
	②	5 時間
	③	8 時間
	④	90 時間

充電レベル 1:

充電切れから時計が動き出すまで

充電レベル 2:

時計が動き出してから満充電まで

光量

- ① 晴れた日の屋外など(50,000 ルクス)
- ② 晴れた日の窓際など(10,000 ルクス)
- ③ 曇りの日の窓際など(5,000 ルクス)
- ④ 蛍光灯下の室内など(500 ルクス)

## 参考

- 実際の充電時間は、環境や時計の設定などによって異なります。

## ●節電(パワーセービング機能)

午後 10 時から午前 5 時 50 分の間に、時計を暗い場所に約 1 時間置いておくと秒針が停止し、レベル 1 の節電状態になります。この状態が 6~7 日続くと、すべての針が停止し、レベル 2 の節電状態になります。

レベル 1:

基本的な時計の機能は作動しています。

レベル 2:

日付のみが作動しています。

## 参考

- 時計を装着している場合でも、ソーラーパネルが袖などに隠れていると節電状態になることがあります。
- 以下の状態のとき、節電モードになります。
  - カレンダーモード
  - ストップウォッチモード(リセット状態のみ)

## ●節電状態を解除する

いずれかのボタンを押す、りゅうずを操作する、または時計を明るい場所に置くと、節電状態は解除されます。

## 本機の便利な使い方

本機とスマートフォンをペアリングすることで、時計のさまざまな機能を簡単に使うことができます。

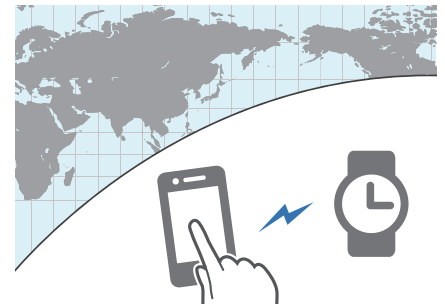
### 時刻を自動で合わせます

🕒 時計の時刻を自動で合わせる



300 以上の都市の中から選ぶことができます

🌐 ワールドタイムを設定する



その他、時計のさまざまな設定がスマートフォンで操作できます。

まずは、時計とスマートフォンをペアリングしてください。

🔗 準備する

- 時計とスマートフォンをペアリングするには、カシオオリジナルのアプリケーション「CASIO WATCHES」をスマートフォンにインストールする必要があります。

## 時刻合わせについて

この時計は、スマートフォンと接続して日付や時刻を合わせることができます。

### 重要

- 病院内や飛行機内など、スマートフォンの使用が禁止または制限されている場所では、自動時刻合わせを無効にしてください。

📍 病院内、飛行機内で使うとき

以下のチャートを参考にして、自分の生活スタイルに合った方法で時刻を合わせてください。

スマートフォンをお使いですか？

スマートフォンと接続して時刻を合わせることをお勧めします。

📍 時計の時刻を自動で合わせる



上記以外

接続できるスマートフォンがない場合は、時計を操作して時刻を合わせることができます。

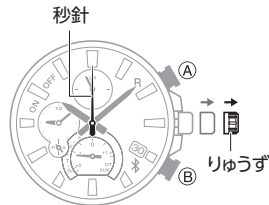
📍 時計を操作して時刻や日付を合わせる



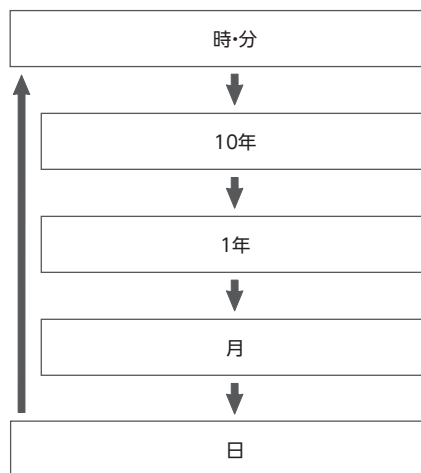
## 時計を操作して時刻や日付を合わせる

### 1. りゅうずを2段引きます。

秒針が12時位置に移動し、「時分」を設定できる状態になります。



- 合わせる項目は、A ボタンを押すごとに、以下の順で切り替わります。



### 2. りゅうずを回して「時分」を合わせます。

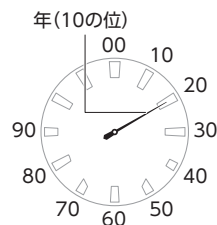
- 時計(24時間制)で午前(右側)、午後(左側)を確認しながら合わせてください。

### 3. A ボタンを押します。

「年(10の位)」を設定できる状態になります。

### 4. りゅうずを回して秒針を「年(10の位)」に合わせます。

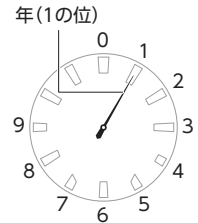
- 年は西暦(20xx)で合わせます。



### 5. A ボタンを押します。

「年(1の位)」を設定できる状態になります。

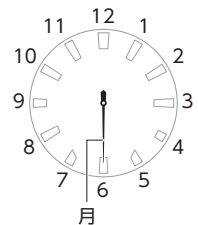
### 6. りゅうずを回して秒針を「年(1の位)」に合わせます。



### 7. A ボタンを押します。

「月」を設定できる状態になります。

### 8. りゅうずを回して「月」を合わせます。



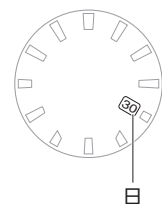
### 9. A ボタンを押します。

機能針が小さく動き秒針が12時位置に移動し、「日」を設定できる状態になります。

- 日付を合わせるときは、機能針が繰り返し回転します。

📍 針と日付の動き方について

### 10. りゅうずを回して「日」を合わせます。



### 11. 時報に合わせてりゅうずを戻します。

## スマートフォンと一緒に使う (モバイルリンク機能)

時計とスマートフォンを Bluetooth で接続することで、時計の時刻を自動で合わせたり、時計の設定を変更したりできます。

### 参考

- この機能は、CASIO WATCHES が起動しているときのみ使用できます。
- この章では、時計とスマートフォンを操作します。  
🕒 : 時計を操作します。  
📱 : スマートフォンを操作します。

## 準備する

スマートフォンと一緒にお使いになるには、時計とスマートフォンをペアリングする必要があります。以下の手順でペアリングをしてください。

●① アプリケーションをインストールする  
Google Play または App Store で、カシオオリジナルのアプリケーション「CASIO WATCHES」を検索して、スマートフォンにインストールしてください。

●② Bluetooth を設定する

スマートフォンの Bluetooth 設定をオンにします。

### 参考

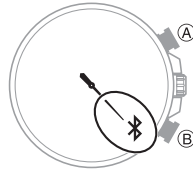
- 設定方法の詳細についてはスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

●③ ペアリングする

時計とスマートフォンと一緒に使うには、最初にペアリングする必要があります。

- ペアリング相手のスマートフォンを、時計の近く(1m 以内を推奨)に置きます。
- 📱「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。
- 📱「マイウォッチ」タブの⊕をタップします。
- 📱画面に従って操作して、時計を CASIO WATCHES に登録します。

- 🕒 秒針が[R]の位置を示すまで 2 秒以上、B ボタンを押し続けます。  
ペアリングが開始すると 2 秒後に秒針が[R]を示します。ペアリングが完了すると、秒針が✳に移動します。



### 参考

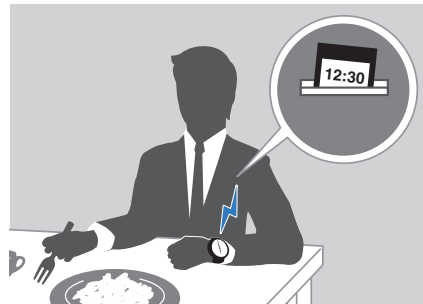
- CASIO WATCHES を初めて起動したときに、位置情報の使用を許可するかどうかのメッセージがスマートフォンの画面に表示されます。位置情報をバックグラウンドでも使用できるように設定してください。

## 時計の時刻を自動で合わせる

毎日決まった時刻にスマートフォンと接続して、時計の時刻を合わせます。

### ●使い方

この時計は 1 日に 4 回の時刻合わせがスケジュールされています。カレンダーモードにしておけば、(イラストのように)普段の生活の中で自動的に時刻を合わせるのでそのままお使いになれます。



### 重要

- 以下のような場合は、自動で時刻を合わせることができないことがあります。
  - スマートフォンと時計が離れた場所にある
  - 電波干渉などで通信できない
  - スマートフォンのシステム更新を実行している
  - CASIO WATCHES が終了している

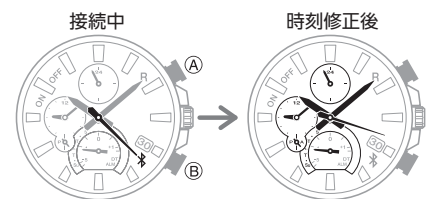
### 参考

- スマートフォンと接続しても時計が正しい日時を示さない場合は、針や日付の位置を補正してください。  
🕒 針や日付の位置を補正する
- CASIO WATCHES でワールドタイム都市を設定している場合、ワールドタイムの時刻も自動で合います。
- 時刻合わせのタイミングは、午前 12 時半頃、午前 6 時半頃、午後 12 時半頃、午後 6 時半頃で、それぞれの時刻になると自動で接続して時刻が合います。時刻合わせが終了すると自動で接続が解除されます。

### ●すぐに時刻を合わせたい

時計とスマートフォンを接続すると、時計の時刻を合わせることができます。今すぐ時計の時刻を合わせたいときは、以下の手順で時計とスマートフォンを接続します。

- スマートフォンを、時計の近く(1m 以内を推奨)に置きます。
- 🕒 時計をカレンダーモードにします。  
🕒 モードを切り替える
- 🕒 秒針が[R]の位置を示すまで 0.5 秒以上、B ボタンを押し続けます。秒針が[R]に移動したらすぐに指を離します。  
時計とスマートフォンが接続すると、秒針が✳に移動した後、時計の時刻が合います。  
●時刻合わせが終わると、接続が終了します。





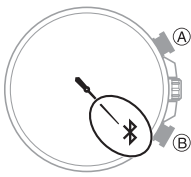
## ストップウォッチのデータを見る

時計に記録されているラップタイム(最大 200 本)などのデータをスマートフォンに転送し、CASIO WATCHES で見ることができます。

### ●データを転送する

時計で計測したデータをスマートフォンに転送します。

1. 「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。
2. 秒針が[R]の位置を 2 回示すまで 2 秒以上、B ボタンを押し続けます。  
時計とスマートフォンが接続されます。



3. 画面に従って操作して、時計で計測したデータをスマートフォンに転送します。  
転送が完了すると、計測データの一覧が表示されます。
  - 計測データをタップすると、詳細が表示されます。

### ●ラップタイムを確認する

スマートフォンに転送したデータを CASIO WATCHES で確認します。

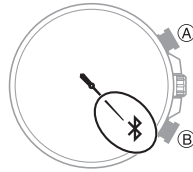
1. 「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。
2. 画面に従って操作して、確認したい計測データを表示します。

### 参考

- 「編集」をタップすると、データのタイトルを変更したり、ラップタイムのデータを削除したりできます。

## アラームを設定する

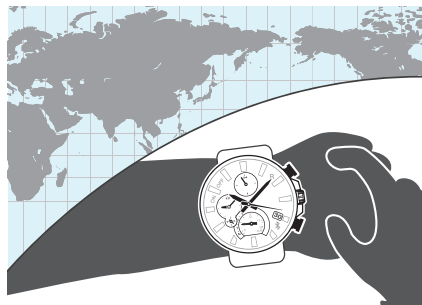
1. 「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。
2. 秒針が[R]の位置を 2 回示すまで 2 秒以上、B ボタンを押し続けます。  
時計とスマートフォンが接続されます。



3. 画面に従って操作して、アラームの時刻を設定します。

## ワールドタイムを設定する

CASIO WATCHES でワールドタイム都市を設定し、時計にその都市の時刻をセットします。また、設定した都市がサマータイムになると、時計を操作しなくても、時計の時刻が自動でサマータイムに切り替わります。

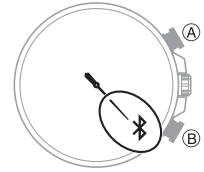


### 参考

- CASIO WATCHES のワールドタイム都市は約 300 都市あります。

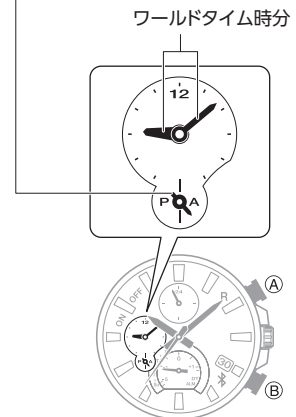
### ●ワールドタイム都市を設定する

1. 「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。
2. 秒針が[R]の位置を 2 回示すまで 2 秒以上、B ボタンを押し続けます。  
時計とスマートフォンが接続されます。



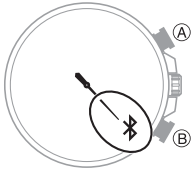
3. 画面に従って操作して、ワールドタイムを時計に反映させます。
  - ワールドタイムの午前、午後は12時間制(24 時間制)の位置で確認できます。

### ワールドタイム24時間制



## ●サマータイムを設定する

1. 「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。
2. 秒針が[R]の位置を2回示すまで2秒以上、B ボタンを押し続けます。  
時計とスマートフォンが接続されます。



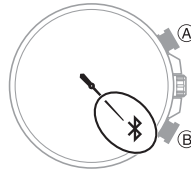
3. 画面に従って操作して、サマータイムを設定します。
  - 「Auto」  
スタンダードタイムとサマータイムが自動で切り替わります。
  - 「OFF」  
常にスタンダードタイムで表示します。
  - 「ON」  
常にサマータイムで表示します。

### 参考

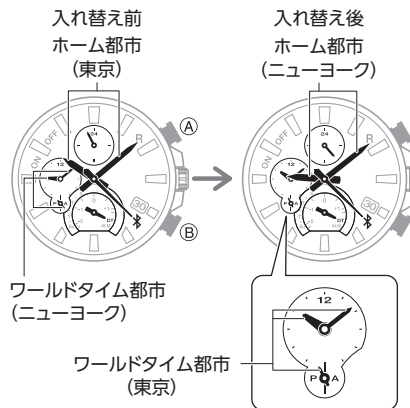
- サマータイム切り替えの設定が「Auto」のときは、自動でスタンダードタイムとサマータイムが切り替わります。サマータイムの切り替えのタイミングごとに時計の時刻を変更する必要はありません。また、サマータイムを導入していない都市でも、「Auto」の設定のまま使えます。
- 時計を操作して手動で時刻を合わせた場合は、サマータイムの自動切り替えが解除されます。
- サマータイムの切り替え期間は、CASIO WATCHES で確認できます。

## ●ワールドタイムとホーム都市の時刻を入れ替える

1. 「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。
2. 秒針が[R]の位置を2回示すまで2秒以上、B ボタンを押し続けます。  
時計とスマートフォンが接続されます。



3. 画面に従って操作して、ホーム都市の時刻とワールドタイムを入れ替えます。  
たとえば、ホーム都市が東京、ワールドタイム都市がニューヨークの場合、時刻を入れ替えると以下になります。



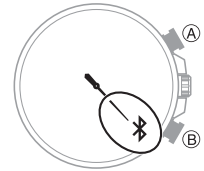
### 参考

- ワールドタイムとホーム都市の時刻を入れ替えた後、24 時間は自動時刻合わせを行いません。

## 針や日付の位置を補正する

自動時刻合わせをしても針や日付の位置が合っていないときは、CASIO WATCHES を使って針や日付の位置を補正できます。

1. 「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。
2. 秒針が[R]の位置を2回示すまで2秒以上、B ボタンを押し続けます。  
時計とスマートフォンが接続されます。



3. 画面に従って操作して、針や日付の位置を補正します。

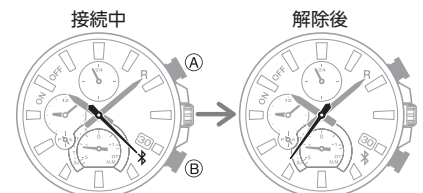
## スマートフォンを探す(携帯電話探索機能)

時計の操作で、スマートフォンの音を鳴らして探すことができます。スマートフォンがマナーモードに設定されていても、強制的に音が鳴ります。


### 重要

- スマートフォンの音を鳴らすことが禁止されている場所では、この機能を使わないでください。
- 大音量が発生しますので、ヘッドホン使用時にこの機能を使わないでください。

1. 時計とスマートフォンが接続している場合は、いずれかのボタンを押して接続を解除します。  
カレンダーモードになります。

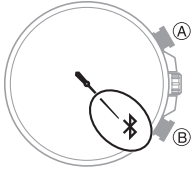





2. 秒針が  の位置を示すまで 4 秒以上、B ボタンを押し続けます。

時計とスマートフォンが接続すると、スマートフォンの音が鳴ります。


- スマートフォンの音が鳴るまで数秒かかります。

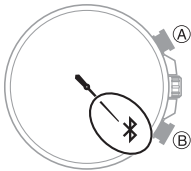



3. 秒針が  の位置を示すまで 2 秒以上、B ボタンを押し続けます。
- 音が鳴り始めてから 30 秒間は、時計のボタン操作で音を止めることができます。

## 時計の各種機能を設定する


Bluetooth 接続を自動で切断する時間などは、CASIO WATCHES で設定できます。

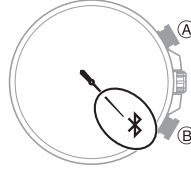
1.  「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。
  2. 秒針が [R] の位置を 2 回示すまで 2 秒以上、B ボタンを押し続けます。
- 時計とスマートフォンが接続されます。



3.  設定したい内容を選び、画面に従って操作します。

## ホーム都市のサマータイム設定を切り替える


1.  「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。
  2. 秒針が [R] の位置を 2 回示すまで 2 秒以上、B ボタンを押し続けます。
- 時計とスマートフォンが接続されます。

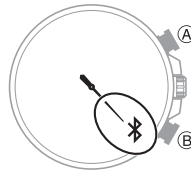


3. 画面に従って操作して、ホーム都市のサマータイム設定を切り替えます。

## 時計の充電量を確認する

CASIO WATCHES で時計の充電量を確認できます。

1.  「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。
  2. 秒針が [R] の位置を 2 回示すまで 2 秒以上、B ボタンを押し続けます。
- 時計とスマートフォンが接続されます。



3. CASIO WATCHES で充電量の表示を確認します。

## 接続

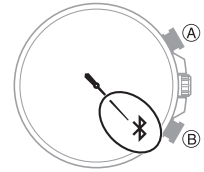
### 時計とスマートフォンを接続する

ペアリングが完了している時計とスマートフォンを Bluetooth 接続します。

- ペアリングしていないときは、下記を参照し、ペアリングを完了してください。

#### ③ ペアリングする

1. スマートフォンを、時計の近く (1m 以内を推奨) に置きます。
  2. 秒針が [R] の位置を 2 回示すまで 2 秒以上、B ボタンを押し続けます。
- 時計とスマートフォンが接続されます。



## 重要

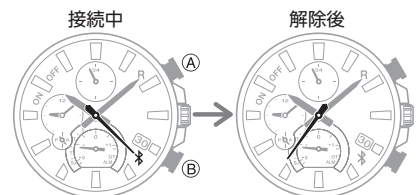
- 時計とスマートフォンを接続できないときは、CASIO WATCHES が終了している可能性があります。スマートフォンのホーム画面で「CASIO WATCHES」アイコンをタップしてアプリケーションを起動してから、時計の B ボタンを 2 秒以上押し続けてください。

## 参考

- 接続中に一定時間何も操作しないと、自動で接続は解除されます。接続を維持する時間は、CASIO WATCHES の「時計設定」→「アプリとの接続時間」で、3 分、5 分、10 分から選ぶことができます。

## 時計とスマートフォンの接続を解除する

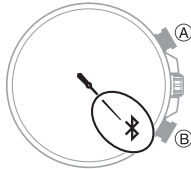
いずれかのボタンを押すと、Bluetooth 接続が解除され秒針が通常の動きに戻ります。



## ■ 病院内、飛行機内で使うとき

病院内や飛行機内など、スマートフォンの使用が禁止または制限されている場合、自動時刻合わせを無効にできます。自動時刻合わせを有効に戻すときも同じ操作です。

1. 「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。
2. 秒針が[R]の位置を2回示すまで2秒以上、B ボタンを押し続けます。  
時計とスマートフォンが接続されます。

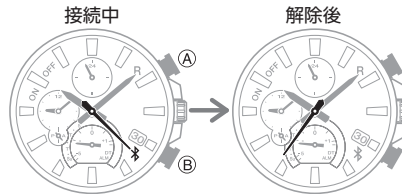


3. 画面に従って操作して、自動時刻合わせを有効または無効に設定します。

## ■ ペアリングを解除する

CASIO WATCHES からペアリング情報を削除します。

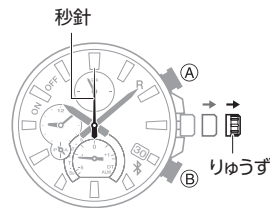
1. 時計とスマートフォンが接続している場合は、いずれかのボタンを押して接続を解除します。



2. 「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。
3. 画面に従って操作して、ペアリングを解除します。

もし、スマートフォンと接続しないようにしたいときは、以下の操作で時計からもペアリング情報を削除します。

1. りゅうずを2段引きます。  
秒針が12時位置に移動します。



2. A ボタンを5秒以上押し続けます。  
ペアリング情報が削除されると、秒針が✱から12時位置に移動します。
3. りゅうずを戻します。

## ■ スマートフォンを買い替えたとき

今まで接続したことのないスマートフォンと本機を Bluetooth 接続する場合は、ペアリング操作が必要です。

### ③ ペアリングする

## ストップウォッチ

カレンダーモードで A ボタンを押すとストップウォッチモードに切り替わり、計測をスタートします(ダイレクトスタート機能)。

1秒単位で23時間59分59秒(24時間計)まで計測できます。

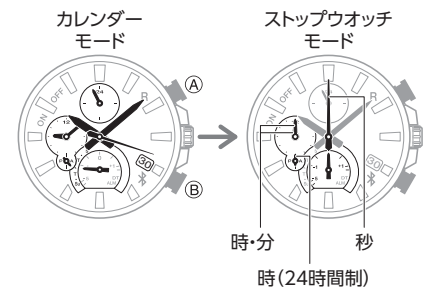


### 参考

- Bluetooth 接続中は、ダイレクトスタート機能は作動しません。

## 計測する

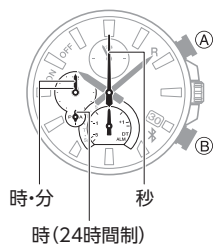
1. カレンダーモードで A ボタンを押します。  
モードを切り替える  
ストップウォッチモードに切り替わり、計測を開始します。



- ① スタート
- ↓
- ② ストップ
- ↓
- ③ 再スタート
- ↓
- ④ ストップ

2. B ボタンを押して、計測をリセットします。  
  - リセット状態で B ボタンを押すと、カレンダーモードに戻ります。

## フライバック計測(ラップタイム計測)

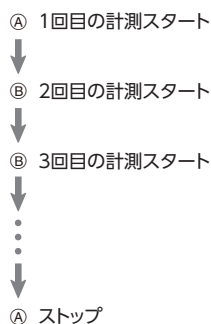


1. カレンダーモードで A ボタンを押します。

### ☞ モードを切り替える

ストップウォッチモードに切り替わり、計測を開始します。

B ボタンを押すごとに、区間ごとの経過時間(ラップタイム)を約 10 秒間示します。



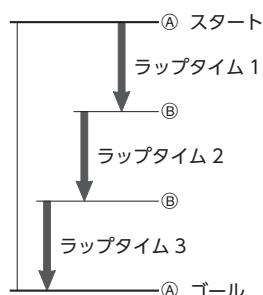
- ラップタイムを約 10 秒間示している間も、時計内部では次のラップタイムを計測しています。  
次のラップタイムが 10 秒以上になると、針が計測中のラップタイムを示します。  
次のラップタイムが 10 秒以下の場合、B ボタンを押したときにそのラップタイムを示します。

2. B ボタンを押して、計測をリセットします。

- リセット状態で B ボタンを押すと、カレンダーモードに戻ります。

## ●ラップタイムについて

サーキット 1 周など、一定区間ごとの経過時間です。ラップタイムは、時計内部で計測されます。時計では、計測中のラップタイムを表示します。



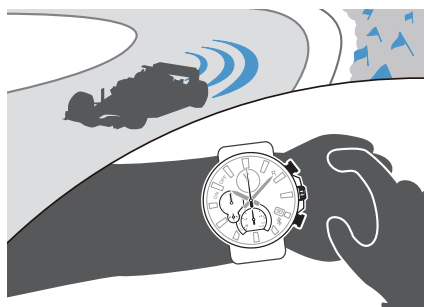
## 参考

- ラップタイムは計測終了後に CASIO WATCHES で確認できます。  
☞ [ストップウォッチのデータを見る](#)

## レースのラップタイムを記録する(使用例)

レースを観戦しているときに、区間ごとにラップタイムを計測できます。さらに、レース後に計測したラップタイムを CASIO WATCHES で見ることもできます。

### ☞ ラップタイムについて



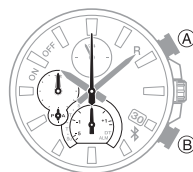
## レース中

ラップタイムを計測します。

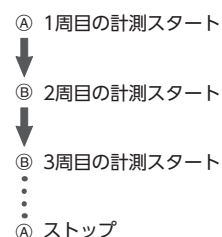
1. カレンダーモードで A ボタンを押します。

### ☞ モードを切り替える

ストップウォッチモードに切り替わり、計測を開始します。



2. 以下の操作で計測します。



周回ごとに B ボタンを押すと、周回ごとのラップタイムが時計内部に記録されます。

- ラップタイムは、計測開始から 1 時間までは、1/1000 秒単位で経過時間を記録します。

3. B ボタンを押して、計測をリセットします。

- リセット状態で B ボタンを押すと、カレンダーモードに戻ります。

## レース後

計測したラップタイムを CASIO WATCHES で確認します。

### ☞ データを転送する

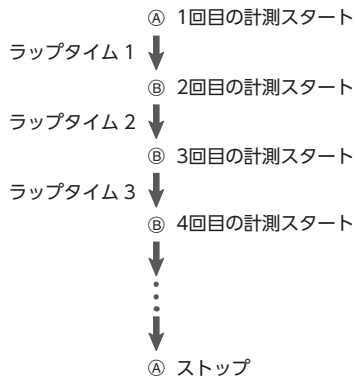
### ☞ ラップタイムを確認する

## 直前のラップタイムとの差を確認する

直前のラップタイムとの差を確認しながら、ラップタイムを計測できます。

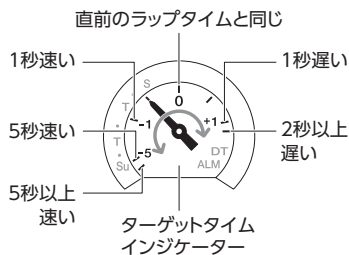
### 使い方

B ボタンを押すごとに、直前のラップタイムとの差を表示します。



- ラップタイムを計測すると、機能針が直前のラップタイムとの差を示します。
- 2回目のラップタイムの計測から、直前のラップタイムとの差を確認できます。

### 直前のラップタイムとの差の見方



## その他の設定

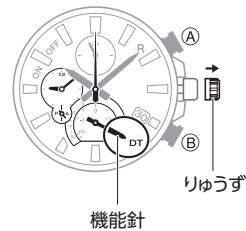
時計の各種設定を変更できます。

### デュアルタイムを設定する

現在地の時刻とは別に、海外時刻などもう1つの時刻を表示できます。

#### 1. りゅうずを1段引きます。

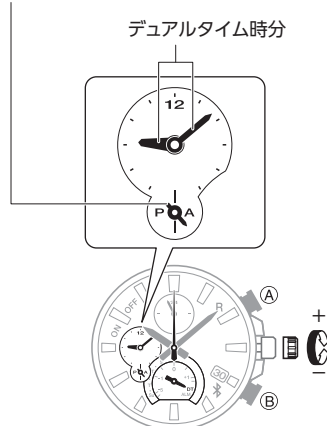
秒針が12時位置を示し、機能針が[DT]を示します。



#### 2. りゅうずを回して時刻を設定します。

- 時刻は15分単位で設定できます。

#### デュアルタイム24時間制



#### 3. りゅうずを戻します。

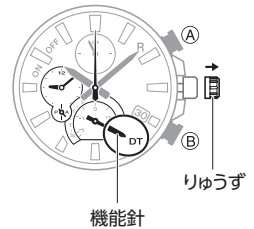
## アラームをセットする

指定した時刻に音でお知らせします。

- 以下のときは音が鳴りません。
  - 充電不足のとき
  - 節電状態レベル2のとき
- 🔋 節電 (パワーセービング機能)

#### 1. りゅうずを1段引きます。

秒針が12時位置を示し、機能針が[DT]を示します。

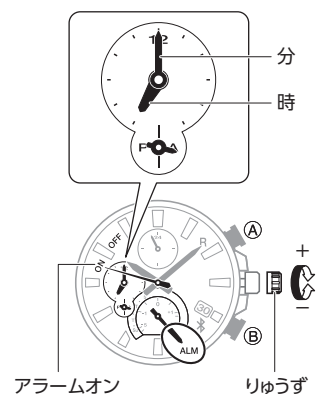


#### 2. A ボタンを押します。

機能針が[ALM]を示し、アラームがオンになります。

#### 3. りゅうずを回してアラーム時刻を設定します。

- アラームの午前、午後は小时針(24時間制)の位置で確認できます。



#### 4. りゅうずを戻します。

#### ● アラームを止めるには

設定した時刻に音が鳴ったら、いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

### 参考

- 設定した時刻になると、音を10秒間鳴らしてお知らせします。
- アラーム時刻は、CASIO WATCHESを使って設定することもできます。

## アラームを解除する

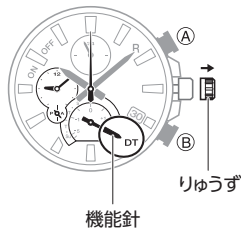
アラーム時刻を設定すると、毎日同じ時刻にアラーム音が鳴ります。

アラーム音が鳴らないようにするには、以下の操作でアラームの設定をオフにしてください。

- 再度アラーム音を鳴らすには、アラームをオンにしてください。

### 1. りゅうずを 1 段引きます。

秒針が 12 時位置を示し、機能針が [DT] を示します。

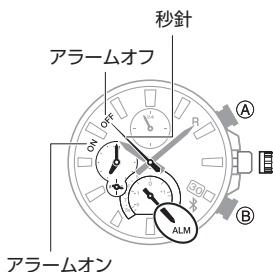


### 2. A ボタンを押します。

機能針が [ALM] を示し、アラームがオンになります。

### 3. B ボタンを押して秒針をオフに合わせます。

- B ボタンを押すごとに、オンとオフが切り替わります。



### 4. りゅうずを戻します。

## 時計の設定をリセットする

時計の以下の設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

- 時計の各種設定
- ストップウォッチ
- アラーム

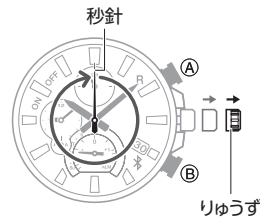
### 1. カレンダーモードにします。

☞ [モードを切り替える](#)

### 2. りゅうずを 2 段引きます。

秒針が 12 時位置に移動します。

### 3. 秒針が 1 周するまで A ボタンを 10 秒以上押し続けます。



### 4. りゅうずを戻します。

## 参考

- 時計をリセットすると、時計からスマートフォンのペアリング情報が削除され、スマートフォンとのペアリングが解除されます。

## 針や日付の補正

強い磁気や衝撃を受けると、針の時刻や日付の位置が合っていないことがあります。そのようなときは、針や日付の位置を補正します。

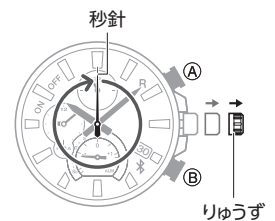
## 針や日付の位置を補正する

### 1. りゅうずを 2 段引きます。

秒針が 12 時位置に移動します。

### 2. 音が鳴るまで 5 秒以上、B ボタンを押し続けます。音が鳴ったら、指を離してください。

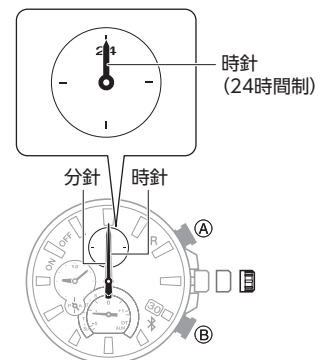
秒針が 1 周して、秒針を補正できるようになります。



### 3. りゅうずを回して秒針を 12 時位置に合わせます。

### 4. B ボタンを押します。

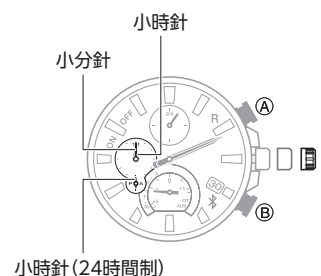
時針、分針および時針 (24 時間制) を補正できるようになります。



### 5. りゅうずを回して時針、分針および時針 (24 時間制) を 12 時位置に合わせます。

### 6. B ボタンを押します。

小時間針、小分針および小時間針 (24 時間制) を補正できるようになります。

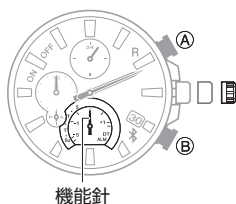


### 7. りゅうずを回して小時間針、小分針および小時間針 (24 時間制) を 12 時位置に合わせます。



## 8. B ボタンを押します。

機能針と日付を補正できるようになります。

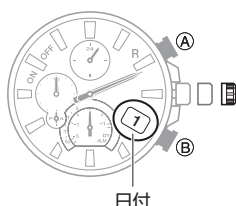


## 9. 機能針や日付の位置が合っていないときは、りゅうずを回して機能針を 12 時位置、日付を日付窓の中央部に合わせます。

- りゅうずを回しても、機能針と日付を動かせる範囲には限りがあります。機能針は最大で左右にそれぞれ 180 度回転します。日付の動きはわずかです。
- 機能針と日付の位置合わせができたときは手順 12 に進んでください。位置合わせができないときは手順 10 に進んでください。

## 10. B ボタンを押します。

日付が「1」で停止することを確認します。



- 日付を合わせるときは、機能針が繰り返し回転します。機能針は 20 分くらい回転を続けることがあります。

### 針と日付の動き方について

## 11. 日付が「1」になっていないときは、りゅうずを回して日付を「1」に合わせます。

- りゅうずを回すと機能針も連動します。機能針は 12 時位置になるように合わせます。

## 12. りゅうずを戻します。

### 参考

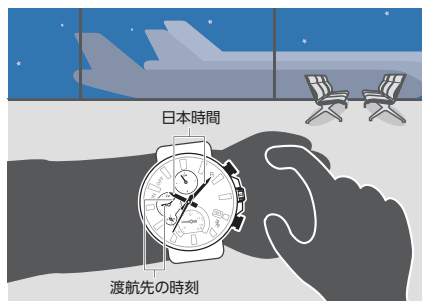
- りゅうずを引いた状態で約 30 分間何も操作しないと、操作が効かなくなります。りゅうずをいったん戻し、操作を最初からやり直してください。りゅうずを戻すと、それまでに補正した針は、補正された状態になります。

## 海外に渡航するときは

こんな使い方をすれば、スムーズに渡航先の日時に変更できます。

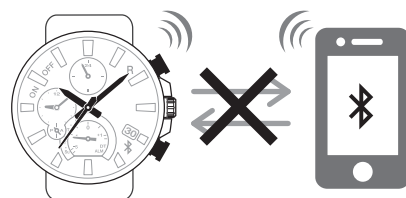
### ●搭乗前

1. 渡航先の時刻をワールドタイム(デュアルタイム)に設定します。



### ○ワールドタイム都市を設定する

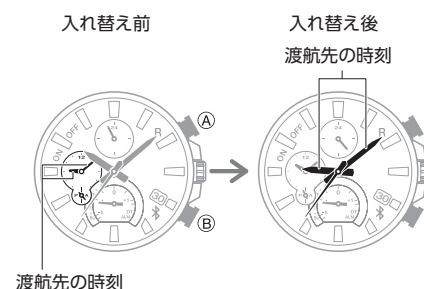
2. 自動時刻合わせを無効にします。



### ○病院内、飛行機内で使うとき

### ●到着後

1. 出発地と渡航先の時刻を入れ替えます。



### ○ワールドタイムとホーム都市の時刻を入れ替える

2. 自動時刻合わせを有効にします。

### ○病院内、飛行機内で使うとき

3. 時刻を合わせます。

### ○すぐに時刻を合わせたい

## 補足

操作説明以外に必要な情報はここにまとめています。必要に応じてご覧ください。

## サマータイムの切り替えについて

### ●スマートフォンと接続して切り替える

スマートフォンと接続したとき、CASIO WATCHES の設定 (Auto/ON/OFF) により、時計のホーム都市の時刻またはワールドタイムは以下ようになります。

#### Auto :

スマートフォンと接続したとき、ホーム都市またはワールドタイム都市がサマータイムに入っていたら、時計の時刻はサマータイムで表示されます。サマータイムに入っていない場合は時計の時刻はスタンダードタイムで表示されます。

#### ON :

サマータイム期間かどうかに関わらず、時計の時刻は常にサマータイムで表示されます。

#### OFF :

サマータイム期間かどうかに関わらず、時計の時刻は常にスタンダードタイムで表示されます。

### ●自動的に切り替える

一度スマートフォンと接続すると、ホーム都市のサマータイム期間の情報 (CASIO WATCHES でワールドタイム都市を設定している場合、その都市のサマータイム期間の情報も) が時計に送信されます。CASIO WATCHES でサマータイムの設定を「Auto」にしておけば、そのあとはスマートフォンと接続しなくても、時計がサマータイム期間を判別し、自動でサマータイムに切り替わります。

## 対応するスマートフォン

本機と通信できるスマートフォンについてはカシオホームページでご確認いただけます。

[https://world.casio.com/os\\_mobile/wat/](https://world.casio.com/os_mobile/wat/)



## 仕様一覧

### 精度:

スマートフォンとの通信による時刻合わせができない場合は、平均月差±15秒

### 基本機能:

時・分(10秒ごとに針が動きます)・秒、日付、曜日、フルオートカレンダー(2000～2099年)

### デュアルタイム機能:

時・分、24時間制

### ストップウォッチ機能:

計測単位 1秒  
計測範囲 23時間59分59秒(24時間)  
計測機能  
通常計測、フライバック計測  
ダイレクトスタート機能  
カレンダーモードからストップウォッチの計測をスタートする

### アラーム機能:

セット単位 時・分  
電子音 10秒間

### モバイルリンク機能:

自動時刻修正機能  
決まった時刻に自動で時計を合わせる  
ワンタッチ時刻修正  
手動で接続して時刻を合わせる  
携帯電話探索機能  
時計操作により、スマートフォンの音を鳴らす  
ストップウォッチデータ転送機能  
計測データ 200本(計測日時、ラップタイム)  
ワールドタイム  
約300都市の時刻を時計に設定する  
ホームタイム/ワールドタイムの時刻入れ替え機能  
サマータイム自動設定機能  
スタンダードタイム/サマータイムを自動で切り替える  
アラーム設定  
針位置補正機能  
通信仕様  
Bluetooth®  
周波数帯域 2400MHz～2480MHz  
最大送信電力 0dBm(1mW)  
通信距離 ～2m(環境により変化)

### その他:

パワーセービング機能、バッテリー充電警告機能

### 使用電池:

二次電池

### 持続時間:

約5か月  
使用条件  
光に当てないで、以下を使用  
自動時刻修正 4回/日  
アラーム 1回(10秒間)/日  
パワーセービング 6時間/日

改良などのため、仕様は予告なく変更されることがあります。

## モバイルリンク機能に関する注意事項

### ●法律上のご注意

- 本機は、各国、地域の電波法の適合または認証を取得しております。電波法の適合または認証を取得していないエリアでご使用になると罰せられることがあります。詳しくは、カシオホームページをご覧ください。  
<https://world.casio.com/ce/BLE/>
- 各国の航空法により、航空機内での使用は制限されています。航空会社の指示に従ってください。

### ●安全上のご注意

#### ⚠ 警告 無線について

- 病院内や航空機内では、病院や航空会社の指示に従ってください。本機からの電磁波などが計器類に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
- 高精度な電子機器または微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、使用しないでください。電子機器が誤作動するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
- ペースメーカーなどをご使用の方は、本機を胸部から離してご使用ください。ペースメーカーなどに磁力の影響を与えることがあります。万一異常を感じたら直ちに本機を体より離し、医師に相談してください。

### ●モバイルリンク機能使用上のご注意

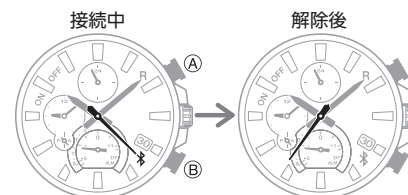
- スマートフォンは、本機の近くに置いてご使用ください。2m以内が目安です。ただし、周囲の環境(壁、家具など)や建物の構造によっては、通信可能距離が極端に短くなることがあります。
- 本機は、他の機器(電気製品、AV機器、OA機器など)の影響を受けることがあります。特に動作中の電子レンジには影響を受けやすく、その近くでは本機が正常に通信できないことがあります。逆に本機の影響で、テレビやラジオに雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。
- 本機のBluetoothは無線LAN対応機器と同一の周波数帯(2.4GHz)を使用しているため、お近くで使用すると電波干渉が発生し、本機と無線LAN対応機器の双方で通信速度の低下や雑音、通信不能の原因となる場合があります。

### ●本機からの電波を止める必要があるときは

秒針が[R]または✱を示しているとき、本機は電波を発信しています。  
また、上記の状態ではないときでも、1日4回時刻合わせのため、自動で時計とスマートフォンが接続します。

病院内や航空機内など、電波の使用を禁止された区域でお使いになるときは、以下のようにご対応ください。

- 電波の発信を止める  
いずれかのボタンを押してBluetooth接続を解除してください。



- 自動時刻合わせを無効にする  
CASIO WATCHESで時計とスマートフォンを同期しないように設定してください。  
Ⓐ 病院内、飛行機内で使うとき

## 無線に関するご注意

- 本機は、電波法に基づいて工事設計認証を受けています。無線局の免許は不要です。
- 本機は、工事設計認証を受けています。以下の事項は法律で罰せられることがあります。
  - － 分解および改造すること
- 無線 LAN は、本機と同じ周波数帯(2.4GHz)を使用しています。これらを利用した製品と本機との間で、互いに電波障害を与えることがあります。
- 下記のような環境では、電波状態が悪くなったり、電波が届かなくなったりします。
  - － 電子レンジ等の磁場、静電気、不要輻射電波の発生する機器の近く
  - － 鉄筋コンクリート(マンションなど)や鉄骨構造の建物内
  - － 大型金属製家具の近く
  - － 各無線機器の間に人が入ったり、間を人が横切るとき、腕を組んだりしたとき
  - － 腕時計とスマートフォン等が別々の部屋にある場合(障害物がある場合)
- 電波を使用している関係上、第三者が故意または偶然に傍受すること考えられます。機密を要する重要な事柄や人命に関わることに使用しないでください。

＜以下、ARIB(一般社団法人 電波産業会)に準ずる＞

- 本機は 2.4GHz 帯を使用し、変調方式は DS-SS/FH-SS/OFDM 方式、DS-FH、FH-OFDM 複合方式以外の"その他の方式"です。また、想定される干渉距離は約 10m です。

2.4 XX1

- 本機の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局との間で、電波干渉が発生した場合には、速やかに通信チャンネルを変更するか、使用する場所を変えるか、本機の使用を停止してください。
3. 不明な点がある場合やお困りの場合は、お買い上げの販売店または「修理に関するお問合せ先」(「取扱説明書」を参照)にお問い合わせください。

## 商標、登録商標について

- Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、カシオ計算機(株)はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- iPhone、App Store は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。
- iOS は米国シスコの商標または登録商標です。
- iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- GALAXY は Samsung Electronics Co., Ltd.の登録商標です。
- Android および Google Play™ は、Google LLC の商標または登録商標です。
- その他の会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

## 困ったときは

### ペアリングできない

#### Q1 時計とスマートフォンが一度も接続(ペアリング)できない

機種は対応していますか？

お使いのスマートフォンと OS が対応機種となっているかご確認ください。対応機種についてはカシオホームページをご覧ください。

↓ [https://world.casio.com/os\\_mobile/wat/](https://world.casio.com/os_mobile/wat/)

CASIO WATCHES をインストールしましたか？

時計と接続するためには、CASIO WATCHES をスマートフォンにインストールする必要があります。

🔍 ① アプリケーションをインストールする

Bluetooth は設定しましたか？

スマートフォンの Bluetooth を設定してください。設定方法の詳細についてはスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

**iPhone をお使いの方**

- 「設定」→「Bluetooth」→ オン
- 「設定」→「プライバシー」→「Bluetooth」→「CASIO WATCHES」→ オン

**Android をお使いの方**

- Bluetooth をオンにしてください。

上記以外

一部のスマートフォンで CASIO WATCHES を使用する場合、スマートフォンで BT Smart の設定を無効にする必要があります。設定方法の詳細についてはスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

ホーム画面で「メニュー」→「本体設定」→「Bluetooth」→「メニュー」→「BT Smart 設定」→「無効にする」

## 再接続できない

### Q1 時計とスマートフォンが再接続できない

CASIO WATCHES は起動していますか？

CASIO WATCHES が終了していると、時計とスマートフォンの再接続ができません。スマートフォンのホーム画面で「CASIO WATCHES」アイコンをタップした後、秒針が[R]の位置を2回示すまで2秒以上、時計のBボタンを押し続けてください。



スマートフォンを確認しましたか？

スマートフォンの電源を入れ直し、「CASIO WATCHES」アイコンをタップしてから、秒針が[R]の位置を2回示すまで2秒以上、時計のBボタンを押し続けてください。



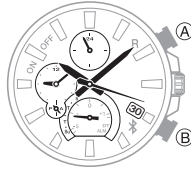
### Q2 スマートフォンの機内モードを有効にしたら接続できなくなった

スマートフォンの機内モードを有効にすると、時計と接続できません。スマートフォンの機内モードを解除してから、スマートフォンのホーム画面で「CASIO WATCHES」アイコンをタップした後、秒針が[R]の位置を2回示すまで2秒以上、時計のBボタンを押し続けてください。



### Q3 スマートフォンの Bluetooth をオンからオフにしたら接続できなくなった

スマートフォンの Bluetooth をオフからオンにし、ホーム画面で「CASIO WATCHES」アイコンをタップした後、秒針が[R]の位置を2回示すまで2秒以上、時計のBボタンを押し続けてください。



### Q4 スマートフォンの電源を切ったら接続できなくなった

スマートフォンの電源を入れ、「CASIO WATCHES」アイコンをタップしてから、秒針が[R]の位置を2回示すまで2秒以上、時計のBボタンを押し続けてください。



## どうしても接続できない場合

### Q1 どうしてもスマートフォンと時計が接続できない

スマートフォンを確認しましたか？

スマートフォンの電源を入れ直し、「CASIO WATCHES」アイコンをタップしてから、秒針が[R]の位置を2回示すまで2秒以上、時計のBボタンを押し続けてください。



ペアリングをやり直しましたか？

CASIO WATCHES からペアリング情報を削除した後、ペアリングをやり直してください。

🔗 ペアリングを解除する

それでも接続できない場合

以下の手順で時計からペアリング情報を削除した後、再度ペアリングをしてください。

- ① りゅうずを2段引きます。
- ② 秒針が✱の位置を示すまで5秒以上、Aボタンを押し続けます。ペアリング情報が削除されます。
- ③ りゅうずを戻します。

## スマートフォンを機種変更した場合

### Q1 今使っている時計を別のスマートフォンと接続したい

お使いになっている時計と接続したいスマートフォンをペアリングしてください。

🔗 スマートフォンを買い替えたとき

## Bluetooth 接続による自動時刻修正機能 (Time Adjustment)

### Q1 どのタイミングで時刻を合わせるのですか？

時刻合わせのタイミングは、午前 12 時半頃、午前 6 時半頃、午後 12 時半頃、午後 6 時半頃で、それぞれの時刻になると自動で接続して時刻が合います。時刻合わせが終了すると自動で接続が解除されます。

### Q2 自動修正の時刻になっても時刻が合わない

時刻合わせのタイミングが遅れていますか？

都市の時刻を入れ替えたり、手動で時刻を合わせたりすると、それから 24 時間は自動時刻修正が起動しません。これらの操作の後、24 時間経過すると自動時刻修正が機能するようになります。

ストップウォッチモードですか？

ストップウォッチモードのときは、時刻合わせのタイミングになっても時刻合わせが始まりません。ストップウォッチモードを終了してください。

↓ [モードを切り替える](#)

自動時刻合わせは有効になっていますか？

自動時刻合わせを無効にしていると、時刻合わせのタイミングになっても時刻合わせを開始しません。自動時刻合わせを有効にしてください。

↓ [病院内、飛行機内で使うとき](#)

### Q3 正しい時刻が表示されない

スマートフォンが圏外の状態になっているなどでネットワークに接続できない場合は、正しい時刻が表示されない可能性があります。その場合は、スマートフォンをネットワークに接続して時刻を合わせてください。

## アラーム

### Q1 アラームが鳴らない

時計は充電されていますか？

充電量が回復するまで光を当ててください。

↓ [充電する\(ソーラー充電\)](#)

りゅうずは元の位置に戻っていますか？

りゅうずを 2 段引いた状態ではアラームが鳴りません。りゅうずを押して元の位置に戻してください。

アラームは鳴る設定ですか？

アラームの設定をオンにしてください。

↓ [アラームをセットする](#)

## 針の動きと表示

### Q1 秒針が 2 秒ごとに動いている

充電量が不足しています。充電量が回復するまで光を当ててください。

↓ [充電する\(ソーラー充電\)](#)

### Q2 すべての針が停止し、ボタン操作ができない

充電切れです。充電量が回復するまで光を当ててください。

↓ [充電する\(ソーラー充電\)](#)

### Q3 突然、針の動きが速くなった

以下の原因の場合は故障ではありません。通常の動きに戻るまでお待ちください。

- パワーセービング機能が解除され、復帰している。

↓ [節電\(パワーセービング機能\)](#)

- スマートフォンと接続して時刻を修正している。

↓ [時計の時刻を自動で合わせる](#)

### Q4 針の動きが止まり、ボタン操作ができなくなった

充電回復モードです。回復するまで(約 15 分間)お待ちください。明るい場所に置いて充電すると早く回復します。

### Q5 針や日付の位置が合っていない

強い磁気や衝撃の影響で針や日付の位置が合っていないことがあります。針や日付の位置を補正してください。

↓ [針や日付の位置を補正する](#)

- 手動で針や日付の位置を補正したい場合は、以下をご覧ください。

↓ [針や日付の補正](#)

## りゅうずの操作

### Q1 りゅうずを回しても何も操作できない

りゅうずを引いたまま 2 分以上(針や日付の位置を補正している場合は約 30 分間)何も操作しないと、操作が効かなくなります。りゅうずをいったん戻した後、再度引いてください。

↓ [りゅうずを使う](#)